

仙台の次世代経営者 presence 対談



(株)清月記専務取締役
菅原 啓太氏

すがわら・けいた
1983年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2021年1月、公益社団法人仙台青年会議所第70代理事長就任。趣味は旅行。

連載
第12回

仙台、日本を拠点に、国内ばかりでなく、世界市場を見据えながら事業を展開している次代を担う若手経営者らに、活力ある仙台の経済活動や人材育成の在り方、そしてこれからの時代を生き抜くために必要な価値観や視点を、株清月記の菅原啓太専務が聞き出します。

顧客の人生に、長く寄り添える居住空間の改善を目指す企業

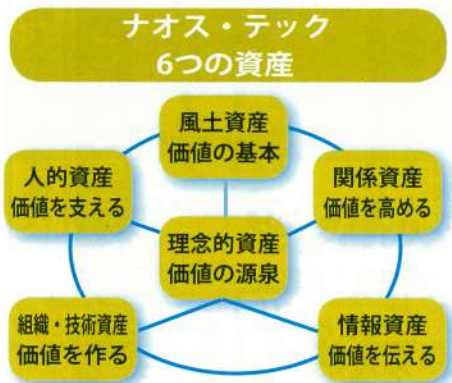
菅原 2023年に設立10周年を迎えたナオス・テック(株)は仙台発祥の会社です。首都圏に本社を移転した背景などは何ですか。

佐藤 空気環境などを測定し、シックハウス対策などを提案する企業が前身です。その後、その消臭技術や独自に開発したフローリング素材などに独立行政法人UR都市再生機構(旧住宅都市整備公団)からオファーがあり、市場そのものが首都圏や関西圏に移り始めた7年前に本社を東京・両国に移しました。

菅原 URからオファーがあった消臭技術とは具体的にどのようなものですか。

佐藤 URは国内に賃貸・分譲住宅などを供給している国内一の企業

です。賃貸しているマンションを新しい居住者に貸し出すとき、必ずリフォームなどを行います。前の居住者が飼っていたペット臭やスパイス臭などの生活臭がどうしても取れない案件が出てきました。とくに酷いのは、火災臭で、コンクリートスラブにまで臭いが残ります。その臭いの原因を調査して、その臭気に



合った消臭処理を完璧に行います。**菅原** 仙台時代に開発した消臭技術が活かされているんですね。ところでナオス・テックの「ナオス」という名前はどこからつけたのですか。
佐藤 居住空間は、そこに住まわれる家族にとっていつまでも安らげる場所であればなりません。その強い思いから、お客さまの人生に長く寄り添える空間づくりを目指して社業を進めようと、3つの「なおす、直す、正す」から由来しています。私たちが暮らしていく中で発見するさまざまなニーズや課題を解決する新たな仕組みを、技術、経験、コミュニケーションを通じ創り出すことが私どもの商品開発力の原動力に

もなっています。**菅原** 生活していく中で生まれてくるさまざまな課題を、技術や経験で解決していくことですね。
佐藤 清月記さまは、冠婚葬祭から飲食、ハイヤー、宿泊事業まで、幅広く手がけておられます。事業の底辺に流れている企業理念はどのようなものですか。
菅原 弊社は、「生命(いのち)の物語応援会社」として、「お客さまの人生をより豊かにする」をテーマに、さまざまな事業を展開しています。お客さまから困りごとのご相談を伺っていると、さまざまな新しいビジネスが生まれる業態でもあります。葬儀業では、いかに故人とご



仙台・清月記本社で

家族との関係性や時間をどう表現して組み立てるか、そしてその価値観を次の世代にどう伝えていくかがとても重要なことだと考えています。御社の企業価値をどう考えていますか。

佐藤 仕入れ先さま、協力先さまから届く価値によって、「3つのなおす」を提供することで、販売する価値、そしてエンドユーザーにお届けする価値の連鎖で、関係者すべてのウイン・ウインを実現していくことが弊社の価値の源流にあり

ます。**菅原** 弊社が考える企業資産価値は6つあります。具体的には、3つの「なおす」でリフォーム業界の常識を変えること、少数精鋭のプロフェッショナル集団であること、材料から施工まで材工一環を実現していくことです。そして経験を通して学ぶことを人材育成の基本とし、施工時の周りの方への礼儀を大切にすることです。
菅原 その企業価値を通じた地域社会貢献をどう考えていますか。

「不安がない居住性能は、人間の幸せにとっても重要」

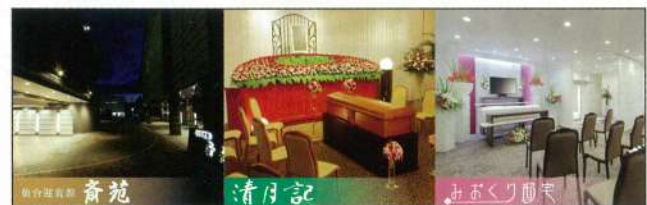
佐藤 これからの若い世代の生活環境は厳しくなるのではと予想しています。子育てしながら良い暮らしをしていけるよう、住宅環境の面からいかにお手伝い出来る企業になれるかに尽きます。私どもの取り組みで、次の世代を含めて豊かにしてい

くことが大きな地域貢献に繋がっていくと考えていますし、発祥の地仙台にも営業所を開設出来ればと思います。若い世代には、社会にいかに貢献していけるか、仕事も含めチャレンジしてほしいと思います。
菅原 家族、友人、職場も含め、不安がない居住性能は、人間の幸せにとってとても重要です。今後、ご活躍を期待しております。

(株)ナオス・テック専務取締役 佐藤慎一郎氏



さとう・しんいちろう
1983年仙台市生まれ。40歳。
東海大学教養学部卒業。(株)三洋工業東京システム勤務を経て、2015年ナオス・テック(株)入社。2018年から同社専務取締役就任。主に営業、技術開発、施工部門などを担当。趣味は映画鑑賞など。



謹賀新年 2024
年頭にあたり皆様方のご健康とご多幸に祈念いたします。
スガワラホールディングス
代表取締役社長 菅原 裕典
専務取締役 菅原 啓太
総本社 / 仙台市宮城野区日の出町 2-5-4



「次の仙台」をどう創るか—文化力、人材育成—